

## 平成 22 年度 第 2 回常任委員会 議事録

日 時：平成 22 年 7 月 6 日（火） 14:00～17:00

場 所：土木学会 AB 会議室

出席者：宮川委員長、岸幹事長、石橋、上田、大津、岡澤（代：菅俣）、鎌田、河合、河野、黒田、堺、島、下村（代：渡辺忠朋）、新藤、武若、堤、富田（代：田中）西垣、二羽、橋本、前川、丸山、横田、六郷、渡辺の各常任委員、佐藤（靖）、信田、服部、濱田の各幹事、村木（事務局）

配布資料：

- 2-0 平成 22 年度 第 2 回常任委員会 議事次第
- 2-1 平成 22 年度 第 1 回常任委員会 議事録（案）
- 2-2 コンクリート示方書英文チェック作業で感じた日本語版の問題点
- 2-3-1 2012 年版コンクリート標準示方書改訂小委員会委員
- 2-3-2 平成 22 年度コンクリート標準示方書改訂小委員会（運営部会）
- 2-3-3 平成 22 年度コンクリート標準示方書改訂小委員会（共通編部会）
- 2-3-4 平成 22 年度コンクリート標準示方書改訂小委員会（設計編部会）
- 2-3-5 平成 22 年度コンクリート標準示方書改訂小委員会（施工編部会）
- 2-3-6 平成 22 年度コンクリート標準示方書改訂小委員会（維持管理編部会）
- 2-3-7 平成 22 年度コンクリート標準示方書改訂小委員会（ダムコンクリート編部会）
- 2-4 第 3 種委員会報告書の取り扱い（案）
- 2-5-1 CO<sub>2</sub>削減を考慮したコンクリート構造物の解体、再利用、補修技術に関する調査研究小委員会 委員構成
- 2-5-2 けい酸塩系表面含浸材設計施工研究小委員会（275 委員会） 委員構成
- 2-6 平成 22 年度全国大会に伴う研究討論会企画
- 2-7 コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会(第 2 期) (JSCE339 委員会) 委員構成（案）
- 2-8-1 構造物表層のコンクリート品質と耐久性能検証システム研究小委員会 (JSCE335 委員会) 第二期委員構成
- 2-8-2 鉄筋コンクリート設計システム研究小委員会 (340 委員会) 委員構成
- 2-9-1 2010 年制定コンクリート標準示方書『規準編』講習会（案）
- 2-9-2 コンクリートライブラリー133「エポキシ樹脂を用いた高機能 PC 鋼材を使用するプレストレストコンクリート設計施工指針（案）」に関する講習会
- 2-9-3 第 54 回日本学術会議材料工学講演会 土木学会・建築学会担当オーガナイズドセッション 「コンクリート構造物の点検・非破壊試験の現状と将来展望」 —講演募集—
- 2-9-4 土木構造物共通示方書講習会のご案内
- 2-10 (5) 土木学会慶弔に関する規定
- 2-11 部会名：コンクリート・土木材料

回覧資料：

- ・コンクリート標準示方書英訳小委員会 施工編の英訳原稿（案）

- ・コンクリート標準示方書英訳小委員会 維持管理編の英訳原稿（案）
- ・市民のためのコンクリートを目指してーコンクリート構造物のインフラマネジメント研究小委員会 報告書ー
- ・コンクリートの収縮に関する構造物の設計ケーススタディー（仮）

## 議事

### 1. 委員長挨拶

宮川委員長より開会にあたり挨拶があった。クールビズのためにネクタイを締めていない方の方が多いようである。私はネクタイを締めているが、作業服であり戦闘服でもあるので気にしないでいただきたい。

### 2. 前回（平成 22 年度第 1 回）常任委員会議事録の確認【資料 2-1】

服部幹事から議事録（案）が説明された。以下の修正を行い、承認された。

- ・ 4 ページ (6)JSCE-K 533（表面被覆材の押抜き試験方法） 「、および(5)」の削除。

### 3. 審議事項

#### (1) 112 コンクリート標準示方書英訳小委員会 維持管理編および施工編の英訳原稿について【回覧資料】

- ・ 上田委員より説明があった。
- ・ 施工編はほぼ完成した。
- ・ 維持管理編はホームページにアップロードするのでご意見をいただきたい。期間は 1 ヶ月とする。
- ・ 設計編は次回の常任委員会に提出する。
- ・ 資料 2-2 は英文をすべてチェックしていただいた石塚氏からの意見である。文章の末尾の記述に対して共通の認識を持つておくべきであるとのコメントが出ている。
- ・ 丸山委員より、「文章末尾の記述については、次回の改訂において検討し原則は決めたい」とのコメントがあった。
- ・ 石橋委員より、資料 2-2 での指摘に関連し、「責任技術者は発注側、施工側双方に置くのを原則としている。また、制度的な部分は解説が必要である。」とのコメントがあった。

#### (2) 217 インフラマネジメント研究小委員会 報告書・報告会について【回覧資料】

- ・ 河野委員より説明があった。
- ・ 現在、河野委員の研究室のホームページに報告書をアップしているのので、ダウンロードして閲覧をお願いする。
- ・ 修正意見を 7 月中にいただきたい。
- ・ 8 月 24 日（火）に学会講堂で講習会を開催する。

#### (3) 101 示方書改訂小委員会 収縮ケーススタディー作業部会 報告書について【回覧資料】

- ・ 下村委員代理の渡辺（忠）氏より説明があった。
- ・ 出版形態はコンクリート技術シリーズとすることと決定した。
- ・ 東京と大阪で報告会を開催する予定である。
- ・ 長岡技術科学大学の下村委員のホームページに報告書をアップしているのので査読をお願いする。意見

は7月中に願います。

- ・修正版を次回の常任委員会に提出する。

- ・河野委員より、近畿地方整備局より収縮問題に関連し、記者発表が行われたとの紹介があった。

- ・橋梁上部工のPC桁を対象として、乾燥収縮 850 $\mu$  未満という規準が明示された。

- ・整備局のホームページから閲覧可能と思われる。

- ・前川委員より、阪田顧問との意見交換について紹介があった。

- ・PC部材ではV/Sがひび割れ発生のパラメータとなるが、コンクリート委員会としての見解は出されていない。

- ・6月号のConcrete Internationalに、JSCE規準には問題があるといった内容のコメントがACIより出されているので確認して欲しい。これについては、個人的ではあるが、直接著者とディスカッションを行う予定である。

#### (4) 101 示方書改訂小委員会 平成22年度の部会委員構成について【資料2-3-1~2-3-7】

- ・丸山委員より説明があった。

- ・今回は運営部会を追加しているのが特徴である。

- ・委員の追加などあり得る。

- ・6月22日に第1回小委員会を開催した。

- ・2013年3月末の発刊とすることから、2012年12月までに作成する。

- ・費用の追加が必要な場合は、宮川委員長に願うこともあり得る。

- ・英文化を同時進行することが望ましいことは理解しているが、現実的には難しい。各編の主査には英文化を意識して進めていただくこととする。

- ・資料【2-2】の検討を進める。

- ・河野委員より、前回の議事にもあった高流動コンクリートの指針とポンプ圧送の指針の改訂について質問があった。

- ・信田幹事より、学会の出版担当から、改訂活動の原資として仕掛り金の拠出は可能であるとの回答をもらっているとの報告があった。また、宮川委員長より仕掛り金のみでは難しいので、受託を受けることも考えているとの回答が出された。

#### (5) 3種委員会 報告書の絶版後の取り扱いについて【資料2-4】

- ・佐藤幹事より説明があった。委員会終了後、3年経過したら委員会ホームページにPDFファイルをアップロードし、無償でダウンロードできるようにする。また、出版に残部がある場合には、当該委員会の委員長および幹事に確認のうえ廃棄する。

- ・大津委員より、3種委員会の報告書は事務局でCD-ROMとして保管されているはずであるとの指摘があった。

- ・事務局の村木氏より、徹底されていないとの回答があった。

- ・佐藤幹事より、3種委員会の総括についても現在検討中であるとの説明があった。

- ・関連して、前川委員より資料【2-11】について説明がなされた。
- ・学会の100周年を記念する記念誌作成の活動が始まっており、「コンクリート・土木材料」部会が設置されている。
- ・コンクリート関連の紙面は15ページ程度であり、その中に3種委員会の活動を紹介したいと考えている。
- ・資料【2-11】の表は、ライブラリーと技術シリーズを整理して総括したものである。
- ・上田委員より、補強材は含まれるのかとの質問があった。また、FRP、高性能補強筋も入れて欲しいとの意見があった。
- ・前川委員より、維持管理の項目で取り扱う予定である、との回答があった。
- ・六郷委員より、国際活動については記述されるのかとの質問があった。
- ・前川委員より、標準示方書の変遷において取り扱う予定である、との回答があった。
- ・意見を今月中に前川委員まで連絡することとなった。

(6) 1種・2種小委員会 委員の追加・変更について【資料2-5-1、2-5-2】

- ・宮川委員長より、219 CO<sub>2</sub>削減を考慮したコンクリート構造物の解体、再利用、補修技術に関する調査研究小委員会について、委員の追加の説明がなされ、275 けい酸塩系表面含浸材設計施工研究小委員会について、委員の交代および追加の説明がなされ、いずれも了承された。

(7) その他

- ・特になし

4. 報告事項

(1) 「エポキシ樹脂を用いた高機能PC鋼材を使用するプレストレストコンクリート設計施工研究小委員会」の報告

- ・二羽委員より、報告書は最終校正中であり7月中に完成予定であること、8月30日に講習会を開催する予定であることが報告された。

(2) JSCE-K572（表面含浸材の含浸深さ測定方法）およびJSCE-K 573（表面含浸材の透水試験方法）の改訂について

- ・鎌田委員より、両規準については審議が不十分であるとの判断から、WGにおいて継続審議とすることが報告された。

(3) 平成22年度全国大会研究討論会について【資料2-6】

- ・濱田幹事より、今年度の全国大会における研究討論会の内容について説明がなされた。
- ・9月1日の16時30分より2時間の予定である。
- ・堺委員が中心となって開催するJCIの報告会が7月30日に開催されるので、参考とすることとした。

(4) コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会（339委員会）（第2期）の委員構成について【資料2-7】

- ・鎌田委員より、委員構成について説明があった。

- ・第1回委員会を、7月23日に開催する予定である。

(5) 3種委員会 委員の追加・変更について【資料2-8-1、2-8-2】

- ・岸幹事長より、335 構造物表面のコンクリート品質と耐久性能検証システム研究小委員会の委員の追加について、340 鉄筋コンクリート設計システム研究小委員会の委員の追加について説明があった。

(6) 講習会・シンポジウム等開催案内・報告

a) 2010年制定コンクリート標準示方書『規準編』講習会（案内）【資料2-9-1】

- ・鎌田委員より紹介があった。
- ・参加費は現在事務局と検討中である。
- ・宮川委員長より、各講演のタイトルについては再考して欲しいとのコメントがあった。

b) 「エポキシ樹脂を用いた高機能PC鋼材を使用するプレストレストコンクリート設計施工指針（案）」に関する講習会（案内）【資料2-9-2】

- ・二羽委員より紹介があった。

c) 第54回 日本学術会議 材料工学連合講演会 土木学会・日本建築学会担当オーガナイズドセッション「コンクリート構造物の点検・非破壊試験の現状と将来展望」（案内）【資料2-9-3】

- ・服部幹事より紹介があった。

d) 土木構造物共通示方書講習会【資料2-9-4】

- ・服部幹事より紹介があった。
- ・石橋委員より、すべての構造物を対象とし、よい構造物を造るための体制を示しているとの補足説明があった。

e) ACF 国際会議について【資料なし】

- ・上田委員より、11月28日～12月1日に台北で開催されるとの紹介がなされた。

f) トルコとのジョイントセミナーについて【資料なし】

- ・鎌田委員より、6月9日、10日、イスタンブールにて開催したこと、参加者が100名程度であったことが報告された。

g) ギリシャとのフォローアップセミナーについて【資料なし】

- ・鎌田委員より、9月1日に予定していたが、ギリシャ側の来日が難しくなったことから中止することとなったとの報告があった。

(7) その他

- ・岸幹事長より慶弔規程の運用【資料2-10】について説明がなされた。コンクリート委員会として保有している寄附金から慶弔費を支出できるかについて、丸山委員が理事会で確認することとなった。
- ・岸幹事長より、例年どおり、次回常任委員会（コンクリート委員会合同）にて小委員会活動報告を行うため、資料の作成依頼を行う予定であることが周知された。

5. その他

次回幹事会：2010年8月25日（水）15：00～17：00（案件の締切は前日8/24）

第1回コンクリート委員会・第3回常任委員会：2010年8月31日（火）札幌ガーデンパレス（予定）

以上